

神のことばを味わい、祈り、生きる
(復活節4主日A年～2020年5月3日)

(聖書箇所は「日ごとの福音」で読むことができます)

【リンクは↓

<https://www.higotonofukuin.org/spip.php?page=quotidien&date=2020-05-03>】

第1朗読 使徒言行録 2・14a、36～41

味わう

「すると、ペトロは11人と共に立って、声を張り上げ、話し始めた。イスラエルの全家は、はっきり知らなくてはなりません。あなたがたが十字架につけて殺したイエスを、神は主とし、またメシアとなさったのです」

主日ごとに集まるとき、必ず信仰宣言を唱えます。神は、十字架にかけられたイエスを主とし、神に遣わされたメシアとしてくださったことを宣言します。まことに、イエスは復活されたと、その信仰をわたしたちは味わいます。

生きる

「人々はこれを聞いて……『わたしたちはどうしたらよいのですか』と言った。すると、ペトロは彼らに言った。『悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます』」

* 悔い改めること、それは回心、心の向きを180度変えること。自己中心的な生き方から神の愛の方へ、人々の方へ心の向きを変えます。

* 自力によってではなく、賜物としていただいている聖霊の力によって。

祈る

+ 復活された主イエス・キリストを信じる恵みを感謝します。

+ まことの回心ができますように。

答唱詩編 23・2～6

イエスの時代の人たちにとって、羊はすべてです。羊の群れのおかげで生活を送ることができます。羊は宝です。「主はわれらの牧者、わたしは乏しいことがない」と歌う時、羊飼いが羊を計り知れない宝として大切にしているのと同じく、神は、ご自分の宝であるわたしたち一人ひとりをととても大切にしてください。試練の最中で、神はわたしたちを導いてくださいます。

第2朗読 ペトロの手紙一 2・20b～25

味わう

* 「善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、これこそ神の御心に適うことです」

ここでいう、苦しみがあることが、神の御心に適うことなのではありません。苦しみの中にあっても、十字架にかけられたイエスに倣って、イエスのように、神に絶対的な信頼をおくことこそが、これこそが神の御心に適うことです。

生きる

* 「あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、魂の牧者であり、監督者である

方のところへ戻って来たのです」

* 心身とも刷新できる、拠り所であるわが主に戻れる何かを行なう、と。

祈る

歌のように……。キリストのように考え、キリストのように話し、キリストのように行い、キリストのよう愛するよう、祈ります。力の限り。

福音朗読 ヨハネによる福音10・1～10

味わう

* 「わたしは門である。わたしを通過して入る者は救われる。その人は、門を出入りして牧草を見つける」。眼の见えない人、足の不自由な人は神殿に入ることが許されず、神に近づくことができませんでした。しかし、神への門であるイエスを通して、父である神に近づくことができます。

* 「羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。自分の羊をすべて連れ出すと、先頭に立って行く。羊はその声を知っているのです、ついて行く」

絶えず神は、そして主イエスも、人々に、わたしたちに声をかけてくださいます。

+ アダムとエヴァに。「どこにいるのか」(創世記3・9)

+ アブラムに。「あなたは生まれ故郷、父の家を離れて、わたしが示す地に行きなさい」(創世記12・1)

+ 寝ていたサムエルが神に4回呼び起こされて使命を受けました。(サムエル記上3)

+ 聖母マリアは天使を通して神の呼び掛けを受け入れて。「わたしは主のはしためです。お言葉とおおり、この身になりますように」(ルカ1・38)

+ シモンに。「恐れることはない。今から後、あなたは人間を取る漁師になる」(ルカ5・10)

+ ザアカイに。「急いで降りてきなさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい」(ルカ19・5)

+ ペトロに。「ヨハネの子シモン、あなたはわたしを愛しているか」(ヨハネ21・17)

+ パウロに。「サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか」(使徒言行録9・4)

生きる

* この頃、神から、主イエス・キリストか、人々からの呼びかけを感じていますか。何に呼ばれていますか。その呼びかけに答えていますか・

祈る

* いつも招いてくださる神に、主イエス・キリストに、心を開き、応えられますように祈ります。

* 今も、現代社会の人に神の愛をあかしする信徒、修道者、司祭を招いてくださるよう祈ります。

「すべてのキリスト信者は、どのような生活条件と身分にあっても、各自自分の道において、父自身が完全にもっている聖性に達するよう主イエス・キリストから招かれている」(第2バチカン公会議『教会憲章』11)

